

カープローブデータ活用

パイオニア(株)では、自動車の走行履歴や各種のセンサーデータなど、情報ネットワークシステム「スマートループ」経由で集積したカープローブデータを独自に解析し、配信する仕組みを構築している。このシステムにより、ネットワークを通じてリアルタイムに情報を共有でき、さまざまな用途に活用することが可能になった。

背景

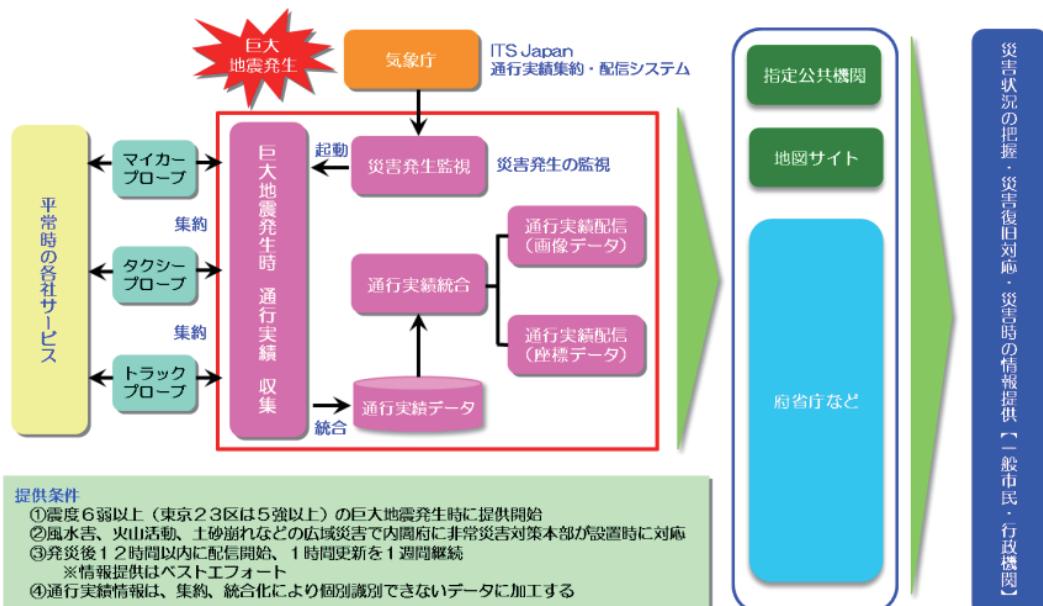
乗用車やトラックの走行履歴等の情報（カープローブデータ）をMAP化し、誰もが利用できる通行実績情報として提供することは、大規模災害時の被災地の救援・支援活動を行う際に大きな役割を果たす。今後の防災・減災に備え、カープローブデータの活用は急務だった。

概要

- パイオニア(株)は、特定非営利活動法人ITS Japanが大規模災害時に実施する社会貢献活動に参画。『乗用車・トラック通行実績情報』の集約・配信活動を行う際の、カープローブデータを提供している。
- 今回の交通実績情報提供プロジェクトに対する情報ネットワークシステムは、平成24年度の総務省調査研究の成果も踏まえつつ、マイカー系に加えてタクシー系やトラック系のプローブ情報と気象庁の防災情報とを連動させ、大規模災害発生時に通行実績を迅速に収集・公開する仕組みを構築している。

情報提供会社：本田技研工業(株)、パイオニア(株)、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、富士通(株)、いすゞ自動車(株)、ボルボグループ [UDトラックス(株)]、日野自動車(株)

災害時通行実績情報提供のスキーム



出典：ITS JapanのHP <http://www.its-jp.org/>

アピールポイント

東日本大震災後に民間企業・団体が連携して提供した通行実績情報は、その有用性が高く評価され、府省庁や地方自治体・通信キャリアなどからも非常に高いニーズがあった。『通行実績情報』は、ビッグデータの利活用の一例としても注目されている。



出典：パイオニアのHP <http://pioneer.jp/carrozzeria/carnavi/smartloop/>